

可批判し其夕之ヲ擁護スル友黨ヲ痛罵シ
 更ニ政府ハ如何程本家ヲ擁護スルニ於テハ
 之ニ迫害ナルヲ傍觀者ハ漸次政府ヨリ遠カ
 止ムナクハ尚然夕友黨ハ如何ニシテ足踏
 ハス勞働運動ハ甚ク大勢夕友黨ノ理解十
 キニ於テハ空筋用却テ福ヲ甚ム一落千尺
 久の、元ノ能ク入レ其理ハ永遠夕云々

特秘第一〇七五七號
 大正十一年六月十八日
 大政府知事 池松時和

内務大臣 水野錬太郎殿
 海軍大臣 加藤友三郎殿
 農商務省 工務局長殿
 警視總監 堀田貞殿
 京都、神奈川、兵庫、廣島、長崎
 愛知、福岡、各府縣知事殿
 大政地方裁判所檢事正殿

大政鐵道所ニ於ケル勞働
 爭議ニ関スル件

一 題記ノ件其後状況左記ノ通ニ有之報
 昨十七日 爭議本部ニ於テハ 幹部負約